

ため池の自然

No. 1 September 1983

発刊にあたり

高蔵高校 浜島繁隆

ため池は、愛知県以西、近畿、瀬戸内海沿岸から北九州にかけ多く分布し、その数は20万個といわれる。近年、農業用水路の開通と都市周辺の宅地開発で、灌漑機能を失った池は、つぎつぎ埋め立てられ、残された池は著しく汚濁されている。かつて、周辺の人びとに親しまれた水辺は、今や、不快で危険な水辺に変貌しようとしている。名古屋東部においても、ここ10年間に約半数の池が姿を消し、現在も減少の一途をたどっている。池の生物を研究している仲間で、これら先祖伝來の池を保護し、都市環境づくりに活用しようと結成したのが本研究会である。現在、保護するため必要な科学的資料を得るために、池の環境や生物の調査を進めている。この調査結果や調査活動を通して考えたことなどを報告し、1人でも多くの人が、池に関心を寄せる期待して会報を発行することにした。